

2020. 11. 22



† 聖日礼拝 前11時

— 感謝日・謝恩日 —

(司会) 小川信一郎兄

奏楽 大東敬子姉

招詞 テモテへの手紙 II 1章14節

讚美歌 三(1、4節)

主の祈り 九三(5A)

交誦詩編 六五

信仰告白 (使徒信条)

讚美歌 二四

聖書 エゼキエル書 34章15〜16節

マタイによる福音書 9章35節〜10章4節

讚美歌 五一四

説教 「収穫の働き手」

佐藤栄一 牧師

祈禱 三八七

讚美歌 二七

献金

讚美歌

祝詞

報

告

§ 今週の集会

日曜学校 22日 前9時

維持委員会(4) 22日 礼拝後(ホール2・3)

平和考を打豆(2) 22日 後1時(ホール2・3)

受洗準備会(1) 22日 後1時(多目的室)

祈禱会 25日 後7時(佐藤牧師)

クリスマスの飾りつけ 27日 前10時半

* 今週の会堂掃除

今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後、有志でお願いします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した

グループで、トイレは週末に有志で。

どうぞよろしくお願いします♪

△ 礼拝当番

(今週)

(次週)

(当番役員)

野田 優子姉

浦田 和明兄

酒井 勲兄

吉田 絵梨子姉

浅井 咲子姉

鈴木 恵一朗兄

日野 智子姉

矢部 征三兄

※ 21日(土)午前中は、教職・事務スタッフとも不在です。もし、この間に御用で来館される方は、裏の牧師館にお回りください。

※ 11月22日の「分散礼拝」は(会員名簿の)「六角橋」・「緑区・青葉区・都筑区」・「市内」の方々です。分散礼拝は、今年いっぱい(12月27日)まで継続することが、役員会で決まりました。

* 感謝日のくだもの

「きょう講壇に飾られたくだものを持って、どうかを訪問されてはいかがでしょう」と、例年なら呼びかけておりましたが、今年はコロナ禍で残念ながら…。でも、その際に添える「感謝日のしおり」の思い、あの聖句はますます力強く迫ります。

「神は恵みをおくださり、天からの雨を降らせて実りの季節を与え、食物を施して、あなたがたの心を喜びで満たしてくださいています。」

(使徒言行録14の17)

礼拝で深く味わった感謝日の思いを胸に、教会の暦の「年末」、アドベントに向かう日々を過し、もう♪ また、感謝日を憶えて、謝恩日献金(15万円)を教団年金局にささげました。

* 「言葉の贈り物」の季節です♪

「互いに離れていても深い交わりを実感できる『喜びの教会』」であることを願って、六角橋教会はかねてより、とくに秋から冬にかけて「問安」(平安)シヤロームを届け合うこと(を)を大切にしてきました。

教会としては感謝日に合わせて「問安の週②」が呼びかけられ、かつての壮年部「問安の手紙」と婦人部「80歳以上の教会員への贈り物」は、昨年から(みんなの交わり)シヤロームの「クリスマス問安カード」になりました。

コロナ禍の今こそ、「言葉を贈り合う」教会としてますます力強く歩みたいと願い、現在、次の2種類への協力を引き続きお願いしています！

その① 問安の週② (11月22日～28日)

「あの方、どうしているかしら」と思う方に「いかがですか？」のひと言を送ってみませんかという趣旨で年に2回呼びかけられています。これを「相互牧会を深める大切な活動」と考え、今年の秋から、牧会委員会として呼びかけることになりました。早速「問安の週 特製葉書」を作製。ぜひお使いくださいというところで、この週報と一緒にお一人1枚ずつお届けします。1枚だけでなく、「もう少し贈りたい」という方は、枚数を委員が事務スタッフまでお伝えいただければ、可能な限り対応いたします。

その② シヤローム「クリスマス問安カード」寄せ書き

みなさんの名前をぜひお書きください。

各部が統合されて昨年誕生した「みんなの交わりシヤローム」。こちらでは、教職が「こういう方にぜひ」という方に、教会からの「クリスマスの想い」を届けるお手伝いですが、その「クリスマス問安カード」を、みんなの署名で美しく飾ります。お送りした方々からは、大変喜ばれています。礼拝後1F玄関に、心を込めてお名前を書いてください。ご協力をよろ

しく願います。12月6日(日)まで

* クリスマス委員会から

「クリスマスの飾り付け」

11月27日(金) 午前10時半から

今年の飾り付けは、作成する飾りの数を減らすなど規模を縮小し、作業時には密を避け換気に気をつけながら有志のみなさんと短時間で終われるように計画しました。

クリスマスの心を静かに見つめ直す飾り付けができればと思います。

◆ 「寿ハザー」と「海員宣教活動」のために献品を！

① 寿地区センターの「冬の炊き出し・バザー」

・食料品(米、缶詰、乾麺、乾物類等々)、

・バザー用男性用冬物衣料

・日用雑貨

※ 衣類は新品でなくても構いませんが、洗濯して「自分で、まだ着られるか」と思われるものをお願ひします。

・また、今回は、期間中募金箱を置いて献金の協力も願ひします。(募金箱は、いつも事務室に置いてありますので「自由にお楽しみ」)

・期間 10月11日(日)～12月9日(水) 午前中

・仕分け・梱包 9日午後1時～

「ひとごころ」他有志

② 併せて、加山牧師が関わる教区海員宣教協力委員会

が呼びかけている海員(船員)のためのクリスマスプレゼントも募っています。このコロナ禍で、いつも以上に寂しい思いを募らせている船員が多いのでとても喜ばれるそうです。

♪ 詳細は掲示板をご覧ください♪

◆ 隠退教師を支える百円献金

分散礼拝の間は、毎週お受けしています。

受付の献金箱に自由におさげください。

§ 前週の報告

聖日礼拝会	19	男	41	女	60	計(求)	献金
11/18祈祷会	4	男	4	女	8	計	106円

※ 発送した茶封筒に、ときどき領収書の取り忘れがあるようですので、「どうぞ」確認を♪

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋一の二六の八
○四五(四三三)〇六九四
FAX(四三三)〇一九四
郵便振替口座00250・2・979
日本基督教団 六角橋教会

(エゼキエル書 34 章 15 ～ 16 節)

15 わたしがわたしの群れを養い、憩わせる、と主なる神は言われる。

16 わたしは失われたものを尋ね求め、追われたものを連れ戻し、傷ついたものを包み、弱ったものを強くする。しかし、肥えたものと強いものを滅ぼす。わたしは公平をもって彼らを養う。

(マタイによる福音書9章35節〜10章4節)

35 イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。

36 また、群衆が飼い主のいない羊のように弱り果て、打ちひしがれているのを見て、深く憐れまれた。

37 そこで、弟子たちに言われた。「収穫は多いが、働き手が少ない。

38 だから、収穫のために働き手を送ってくださるように、収穫の主に願いなさい。」

10章

1 イエスは十二人の弟子を呼び寄せ、汚れた霊に対する権能をお授けになった。汚れた霊を追い出し、あらゆる病気や患いをいやすためであった。

2 十二使徒の名は次のとおりである。まずペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、

3 フィリポとバルトロマイ、トマスと徴税人のマタイ、アルファイの子ヤコブとタダイ、4 熱心党のシモン、それにイエスを裏切ったイスカリオテのユダである。